

第1号議案

令和6年度事業報告及び計算書類・監査報告に関する件

令和6年度事業報告

理事長 中川 法一

令和6年度はCOVID-19感染症による社会的制限もほぼなくなり、生涯学習センター（以下、センター）の実施する研修事業全般が通常化した事業年度でした。センターの事業の柱は「研修事業」であり、大きなイベントとして『大阪府理学療法学術大会』、『生涯学習研修集会』があり、機関学術誌として『総合理学療法学』を発行しており、その他にも会員の研鑽と組織の質的底上げのために各部局が多様な事業に取り組んでいました。

『第36回大阪府理学療法学術大会』は女性初の大会長である増田知子大会長のもとで「ワーク・ライフ・インテグレーション(work life integration)」をテーマとして7月28日に大阪国際会議場で開催され144演題の発表および2,020名のご参加登録があり、当日会場には1,300名が参加され活発な意見交換がなされていました。

『第6回生涯学習研修集会』は10月5・6日に森ノ宮医療大学にて7領域（基礎、運動器、スポーツ、神経、循環器、ウィメンズ、教育）で対面によるハンズオン研修を234名の参加者で開催しました。また、これに先立ち5月17日～7月4日の期間でハンズオン研修での理論背景などをWebセミナーとして開催（教育を除く6領域）し計769名の参加者がありましたが、当日のハンズオン研修への参加へ誘導する効果は大きいものではありませんでした。ハンズオンセミナーの意義は、手から手へ“技”を教授することが理学療法の本質を伝承することに他ならないのですが、安易に学べるツールを知ってしまった世代に意義を伝える難しさを痛感しました。また付帯設備等の条件で会場選択が限定されることや、多くの講師陣の日程調整の難しさなど、いくつかの課題が浮き彫りになりました。

センターの公式学術誌である『総合理学療法学 第4巻』には原著論文9編、症例報告4編の計13編にてJ-stage (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/cptr/-char/ja>) にてオンライン公開を行いました。府外からの投稿数の増加傾向があり認知度も緩やかに向上しているようです。センターの学術誌である以上、さらに会員からの投稿数を増やしていく取り組みを考えて参ります。

日常的に自己研鑽の場を提供する目的で週2回のオンライン研修会も2年目を迎え、何とか会員に定着した感があります。計52回の研修会を開催し、会員だけでなく全国から多くの参加者が集まってくれました。全プログラムにおいて、登録理学療法士更新ポイントおよび専門・認定理学療法士更新点数を取得できるようにし、講師の承諾が得られた50研修において開催後に2週間のアーカイブ動画の配信も行いました。申し込み者総数は何と7,894名におよび、全く他府県士会の追随を許さない規模の研修会となっています。その反面、学術誌同様に会員の参加者数の増加が課題となっています。年間を通して週2回の研修会を開催することは大変な労力を要することであり、部員の献身的な運営努力には感謝の念に堪えません。

府下の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が介し1つのテーマについて各々の立場で発言をし、共に議論を行い共に歩むことを目的とした『3士会合同研修会』を令和6年度（令和7年2月16日）より、テーマを『高次脳機能障害と社会参加』として森ノ宮医療大学にて開催することができました。参加者数は149名（理学療法士46名、作業療法士67名、言語聴覚士36名）であり、旗振りをした当センター会員の参加数にやや物足りなさを感じましたが、今後も継続して定期開催を行ってまいります。合同研修会は私たちの研鑽が目的ではありますが、一方でリハビリテーションという言葉や概念は市民権を得ていますが、理学療法士などセラピスト単体としてのプレゼンスは残念ながら未だに高いとは言えません。このように3士会が合同で研修や公開講座を行うことで、府民へ医学的リハビリテーションの主たる担い手であるセラピストのプレゼンスを向上させる有意義な機会であると考えています。

他士会より何歩も前を進んでいると自負している臨床実習教育に関する事業について報告をいたします。臨床実習教育基準に関する事業は、府下養成校と臨床教育の認定理学療法士有資格者の協力のもとで、実習前評価の統一化を目指しています。各養成校における認識度や理解度の差があり進捗は遅々としていますが、理学療法教育の大きな幹の一つである臨床実習の質向上と府民（患者）保護は不可避な課題ですので、引き続き理解を得られるよう尽力してまいります。臨床実習指導者の育成事業は順調に実施できており、センター主催にての臨床実習指導者講習会を開催いたしました。本講習会は令和5年度まで大阪府養成校協議会にて管理されていましたが、協議会の解散により令和6年度からセンターが継承したものです。また、認定臨床教育者講習会も盛況に終わることができており、指導者育成については堅調に事業が実施できています。

最後に新生涯学習制度に則り前期・後期研修および認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関として2領域（運動器と循環器）のカリキュラムも滞りなく実施できました。前者においては講師バンクからの若手会員の講師登用も計画どおりに進んでおり、育成事業としての側面も機能していることもご報告しておきます。その他として、市区町村士会の研修窓口事業として、102件の「主催」研修会の申請があり必要に応じ履修登録の手続きを実施しました。またセンター主催の理学療法士講習会16件と協会助成事業の理学療法士講習会1件の管理を行いました。

以上、ご報告をいたしました各事業における詳細な数字などは、資料の各事業報告を参照ください。また、これらの研修事業の告知をタイムリーにできるようにセンターニュースとして「おおさかPT学びの道しるべ」を発行することができましたのでご活用ください。

最後になりますが、令和5年度より設置しておりました諮問委員会からの答申を受理していますが、この点については令和7年度事業計画にて少し触れたいと思います。

これで令和6年度の事業報告といたしますが、これらの事業の効率的で円滑な実施を支えてくれた事務局および情報管理局の献身的な取り組みがあったことを申し添えておきます。

令和6年度事業報告

1 学術集会の開催等による理学療法に関する研究発表事業

(1) 第36回大阪府理学療法学術大会の準備に関する事業 【事業番号 101 学術大会部】

ア 機器、備品の貸し出し（進行物品、電源アダプタ等）オンライン学術大会開催に必要な備品の貸し出しを行った。

イ 優秀演題授与に関する準備を行った。

(2) 学術大会の運営支援に関する事業 【事業番号 102 学術大会部】

ア 学術大会開催までのロードマップ作成を行った。

イ 学術大会開催の指針となるマニュアルの見直しを行った。

ウ 学術大会準備に必要なひな形文章の見直しを行った。

エ 第36回大阪府理学療法学術大会の開催を支援した。

日 時 令和6年7月28日（日）

場 所 グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）およびWEB会場

テーマ 「ワーク・ライフ・インテグレーション(work life integration)」

大会長 増田 知子 先生（千里リハビリテーション病院）

副大会長 谷埜 予士次 先生（関西医療大学）

準備委員長 齊藤 友介 先生（彩都リハビリテーション病院）

参加登録者

協会員当日参加者（対面/WEB）1,299名

協会員後日参加者（VOD）546名

非協会員当日参加者（対面/WEB）1名

非協会員後日参加者（VOD）0名

学生・他職種当日参加者（対面/WEB）174名

学生・他職種当日参加者（VOD）0名

2,020名（協会員：1,845名、非会員：1名、学生174名）

合計 2,020名

演題数

一般演題 96題、新人症例発表 35題、卒業研究発表 13題、合計 144演題

<内 容>

基調講演 「高め合うワークとライフの実現を目指して」

演者 増田 知子 先生（千里リハビリテーション病院）

座長 齊藤 友介 先生（彩都リハビリテーション病院）

特別講演 「テクノロジーとデータを活用したリハビリテーション医療のあり方」

演者 近藤 国嗣 先生（東京湾岸リハビリテーション病院 医師）

座長 増田 知子 先生（千里リハビリテーション病院）

シンポジウム 「理学療法士としてのワーク・ライフ・インテグレーションの実現に向けて」

演者 起田 陽子先生 (Rehabilitation Design Lab)
常盤 紗恵子 先生 (訪問看護ステーションいこいの森)
鈴木 郁 先生 (帝京大学医学部脳神経内科学講座)
唄 大輔 先生 (横浜市スポーツ医科学センター)

座長 中谷 知生 先生 (宝塚リハビリテーション病院)

モーニングセミナー 「脳卒中リハビリテーションにおける機能的電気刺激」

演者 生野 公貴 先生 (西大和リハビリテーション病院)
座長 奥埜 博之 先生 (摂南総合病院)
協賛 フランスベッド株式会社

ランcheonセミナー

「脳卒中後痙縮に対するボツリヌス治療～療法士の職域として何ができるか?～」

演者 君浦 隆ノ介 先生 (藍の都脳神経外科病院)
座長 橋本 篤 先生 (阪南市民病院)
協賛 帝人ヘルスケア株式会社、帝人ファーマ株式会社

「ゲイトジャッジシステムを用いた多職種チームアプローチの現状」

演者 矢倉 一 先生 (森之宮病院)
宮谷 定行 先生 (川村義肢株式会社)
座長 中谷 知生 先生 (宝塚リハビリテーション病院)
協賛 川村義肢株式会社

イブニングセミナー 「生活期の現状から考える、急性期、回復期における脳卒中リハビリテーション」

演者 勝谷 将史 先生 (西宮協立リハビリテーション病院)
鳴尾 彰人 先生 (篤友会リハビリテーションクリニック)
川場 康智 先生 (小豆澤整形器製作所)
座長 勝谷 将史 先生 (西宮協立リハビリテーション病院)
協賛 CORABOSS

第36回大阪府理学療法学会 優秀演題賞

・演題名 「回復期脳卒中患者における退院時歩行自立に関する臨床予測モデル：決定木分析を用いた検証」

筆頭演者 山田 良 先生 (岸和田リハビリテーション病院)

・演題名 「下肢しびれ感を呈した自己免疫介在性脊髄炎患者に対するしびれ同調経皮的電気神経刺激が奏効した一症例」

筆頭演者 廣田 泰成 先生 (岸和田リハビリテーション病院)

- ・演題名 「後方に特異的な身体傾斜による姿勢制御障害を呈した脳出血例の回復経過と考察」

筆頭演者 中井 晴香 先生（千里リハビリテーション病院）

- ・演題名 「肝線維化リスクの高い脂肪肝患者の進行予防に取り組んだ一症例-通所リハビリテーションでの1年間の介入-」

筆頭演者 中島 英士 先生（高遼会病院）

- ・演題名 「びまん性汎細気管支炎患者に対しコンディショニングが運動耐容能の向上に寄与した一症例」

筆頭演者 川崎 武人 先生（医学研究所北野病院）

- ・演題名 「前十字靱帯再建術、半月板縫合術に加えて外側関節外腱固定術を施行した症例～大腿四頭筋、ハムストリングスの筋力回復の推移、関節可動域の早期改善について～」

筆頭演者 杉原 優輝 先生（大阪回生病院）

大阪府理学療法士会学術奨励賞

- ・演題名 「外来化学療法に通院するがん患者に対する運動指導の効果検証」

筆頭演者 中野 治郎 先生（関西医科大学）

卒業研究優秀演題賞

- ・演題名 「幼児期の親子のかかわりと子どもの社会性発達の関連」

筆頭演者 利川 鈴音 先生（森ノ宮医療大学）

2 理学療法に関する機関誌等の発行事業

【事業番号 201 学術誌編集部】

（1）学術誌の編集及び発刊に関する事業

学術誌『総合理学療法学』第4巻を発行した。第4巻では、研究論文9編、症例報告4編の計13論文をJ-stageにてオンライン公開を行った。論文の投稿数および掲載数を増加させる取り組みとして、第36回大阪府理学療法学会大会における査読審査上位演題に対して論文投稿依頼を行った。編集委員会として投稿論文のチェック・査読依頼・論文審査・校正依頼を実施し、受理論文をJ-STAGEにて早期公開を行った。

（2）研究活動の助成に関する事業

【事業番号 202 学術誌編集部】

研究活動の助成に関する事業について検討を行った。

3 理学療法士等の資質向上を目的として行う研修等事業

（1）第6回生涯学習研修集会の企画運営支援に関する事業

【事業番号 301 研修部】

第6回生涯学習研修集会として2024年10月5・6日（土・日）に森ノ宮医療大学にて7領域（基礎・小野 志操 先生、運動器・建内 宏重 先生、スポーツ・坂田 淳 先生、

神経・北山 哲也 先生、循環器・高橋 哲也 先生、ウィメンズ・田舎中 真由美 先生、教育・池田 耕二 先生）での対面研修を開催した。

各領域での参加者は計 234 名（基礎・40 名、運動器・36 名、スポーツ・37 名、神経・24 名、循環器・30 名、ウィメンズ・26 名、教育・6 名）であった。

また、2024 年 5 月 17 日（金）～7 月 4 日（木）の期間で対面研修に繋がる理論背景などを Web セミナーとして開催し、教育を除く 6 領域での参加者が計 769 名（基礎・93 名、運動器・121 名、スポーツ・87 名、神経・71 名、循環器・140 名、ウィメンズ・156 名）であった。

（２）研修会・講習会の開催に関する事業

【事業番号 302 研修部】

ア センター「主催」研修会

年間 52 回の研修会を開催した。センター会員だけでなく全国の協会会員が参加できるよう平日夜のオンライン開催とした。また全研修会において、受講者が登録理学療法士更新ポイントおよび専門・認定理学療法士更新点数を取得できるよう企画し、講師の承諾が得られた 50 研修において開催後に 2 週間のアーカイブ動画配信を実施した。

開催概要と全 52 回の申込者総数、履修登録者数を以下に示す（各研修会の内容および申込者数内訳は以下の通りである。

開催方法 オンライン（ZOOM ウェビナー）

開催時間 午後 7 時から午後 8 時 30 分まで

登録理学療法士更新ポイント 1.5 ポイント

専門・認定理学療法士更新点数 1.5 点

申込者総数（内センター会員数・率）7,894 名（1,459 名・18%）

履修登録者総数（録者数者率）5,442 名（69%）

・第 1 回研修会

開催日 2024 年 4 月 9 日

テーマ TKA 術後の機能評価と理学療法～病期別で考える関節可動域～

講師 川崎 友祐希 先生（喜馬病院）

カリキュラムコード 85 領域 関節可動域障害

申込者数 196 名 府士会員数 20 名（10%）履修登録者数 137 名（70%）

・第 2 回研修会

開催日 2024 年 4 月 12 日

テーマ 基礎から学ぶ脳機能～運動失調の理解と介入方法～

講師 松木 明好 先生（四條畷学園大学）

カリキュラムコード 83 領域 神経筋疾患の理学療法

申込者数 226 名 府士会員数 36 名（16%）履修登録者数 158 名（70%）

・第 3 回研修会

開催日 2024 年 4 月 19 日

テーマ 循環器疾患の運動療法の実際～リスク管理を踏まえた運動強度の設定～

講師 上坂 建太 先生（医学研究所北野病院）

カリキュラムコード 105 領域 循環器疾患の理学療法

申込者数 268 名 府士会員数 47 名 (18%) 履修登録者数 178 名 (66%)

・第4回研修会

開催日 2024 年 4 月 23 日

テーマ パーキンソン病による姿勢異常～体幹のアラインメントどこまで治る？～

講師 福本 悠樹 先生 (関西医療大学)

カリキュラムコード 81 領域 パーキンソン病関連疾患の理学療法

申込者数 260 名 府士会員数 34 名 (13%) 履修登録者数 194 名 (75%)

・第5回研修会

開催日 2024 年 4 月 26 日

テーマ 肩関節周囲筋のセルフトレーニング～ポジショニングが重要！～

講師 井尻 朋人 先生 (喜馬病院)

カリキュラムコード 67 領域 筋力低下

申込者数 305 名 府士会員数 41 名 (13%) 履修登録者数 213 名 (70%)

・第6回研修会

開催日 2024 年 5 月 9 日

テーマ 在宅で行う呼吸リハビリテーション～アセスメント技術で在宅でもここまで
診える～

講師 沖 侑大郎 先生 (神戸大学)

カリキュラムコード 166 領域 在宅医療と理学療法

申込者数 258 名 府士会員数 30 名 (12%) 履修登録者数 182 名 (71%)

・第7回研修会

開催日 2024 年 5 月 21 日

テーマ 基礎から学ぶバイオメカニクス～体幹機能の評価と姿勢制御の基本～

講師 橋本 雅至 先生 (奈良学園大学)

カリキュラムコード 52 領域 活動体としての人間理解 基本動作

申込者数 310 名 府士会員数 47 名 (15%) 履修登録者数 222 名 (72%)

・第8回研修会

開催日 2024 年 5 月 27 日

テーマ 高次脳機能障害に対する視覚を用いた運動療法

講師 酒井 克也 先生 (東京都立大学)

カリキュラムコード 75 領域 高次脳機能

申込者数 139 名 府士会員数 13 名 (9%) 履修登録者数 95 名 (68%)

・第9回研修会

開催日 2024 年 5 月 29 日

テーマ 腰椎椎間板ヘルニアに対する運動療法～迷わないためのスクリーニング検査
～

講師 小坂 健二 先生 (てんじん整形外科リウマチ科)

カリキュラムコード 37 領域 臨床問題解決のプロセス

申込者数 212 名 府士会員数 28 名 (13%) 履修登録者数 154 名 (73%)

・第 10 回研修会

開催日 2024 年 6 月 4 日

テーマ 脳卒中患者における身体活動の重要性～再発予防のために理学療法士ができること～

講 師 金居 督之 先生 (金沢大学)

カリキュラムコード 79 領域 脳血管障害後遺症

申込者数 101 名 府士会員数 16 名 (16%) 履修登録者数 71 名 (70%)

・第 11 回研修会

開催日 2024 年 6 月 14 日

テーマ 基礎から学ぶ代謝～今さら聞けない糖尿病の基礎知識～

講 師 野村 卓生 先生 (関西医科大学)

カリキュラムコード 110 領域 代謝疾患の理学療法

申込者数 125 名 府士会員数 20 名 (16%) 履修登録者数 93 名 (74%)

・第 12 回研修会

開催日 2024 年 6 月 24 日

テーマ がんのリハビリテーション I がんリハビリテーションにおけるリスク管理のポイント

講 師 加藤 祐司 先生 (大阪国際がんセンター)

カリキュラムコード 116 領域 がんのリハビリテーション

申込者数 175 名 府士会員数 37 名 (21%) 履修登録者数 133 名 (76%)

・第 13 回研修会

開催日 2024 年 6 月 28 日

テーマ 再生医療の実態～再生過程で理学療法士が知っておくべきこと～

講 師 猪村 剛史 先生 (広島都市学園大学)

カリキュラムコード 142 領域 再生医療と理学療法

申込者数 60 名 府士会員数 9 名 (15%) 履修登録者数 44 名 (73%)

・第 14 回研修会

開催日 2024 年 7 月 8 日

テーマ PT が知っておきたいワークライフバランスとキャリアデザイン

講 師 高木 綾一 先生 (株式会社 Workshift)

カリキュラムコード 159 領域 スタッフ教育と教育システム

申込者数 121 名 府士会員数 32 名 (26%) 履修登録者数 86 名 (71%)

・第 15 回研修会

開催日 2024 年 7 月 12 日

テーマ 鼠径部痛症候群の病態に迫る～必要な評価と運動療法のポイント～

講 師 立石 聡史 先生 (産業医科大学若松病院)

カリキュラムコード 94 領域 疼痛・関節痛

申込者数 129 名 府士会員数 25 名 (19%) 履修登録者数 86 名 (67%)

・第 16 回研修会

開催日 2024 年 7 月 17 日

テーマ 基礎から学ぶエコー～筋の見方・関節の見方～

講師 福元 喜啓 先生 (関西医科大学)

カリキュラムコード 39 領域 画像評価

申込者数 202 名 府士会員数 40 名 (20%) 履修登録者数 127 名 (63%)

・第 17 回研修会

開催日 2024 年 7 月 25 日

テーマ 腎臓リハビリテーションにおける運動療法の実際～維持透析患者のフレイルを管理する意義～

講師 松沢 良太 先生 (兵庫医科大学)

カリキュラムコード 112 領域 腎・泌尿器疾患

申込者数 129 名 府士会員数 24 名 (19%) 履修登録者数 87 名 (67%)

・第 18 回研修会

開催日 2024 年 7 月 30 日

テーマ 科学的根拠から考える神経の可塑性～随意性がない中でどう考える？～

講師 金子 文成 先生 (東京都立大学)

カリキュラムコード 54 領域 神経・筋機能制御

申込者数 166 名 府士会員数 32 名 (19%) 履修登録者数 101 名 (61%)

・第 19 回研修会

開催日 2024 年 8 月 5 日

テーマ 慢性足関節不安定症の理学療法評価～病態把握に必要な評価戦略～

講師 越野 裕太 先生 (北海道大学)

カリキュラムコード 57 領域 機能と構造、身体機能の低下

申込者数 119 名 府士会員数 31 名 (26%) 履修登録者数 80 名 (67%)

・第 20 回研修会

開催日 2024 年 8 月 7 日

テーマ 基礎から学ぶ呼吸～解剖学、生理学に基づく呼吸器疾患の病態的特徴と呼吸リハビリテーションの進め方～

講師 堀江 淳 先生 (京都橘大学)

カリキュラムコード 98 領域 呼吸障害

申込者数 164 名 府士会員数 32 名 (20%) 履修登録者数 104 名 (63%)

・第 21 回研修会

開催日 2024 年 8 月 27 日

テーマ 高齢心不全患者の訪問リハビリテーション～在宅での心不全管理の実際～

講師 大浦 啓輔 先生 (のぞみハートクリニック)

カリキュラムコード 169 領域 訪問理学療法

申込者数 204 名 府士会員数 37 名 (18%) 履修登録者数 133 名 (65%)

・第 22 回研修会

開催日 2024 年 8 月 30 日

テーマ 臨床における連合反応をどう考える？

講師 嘉戸 直樹 先生 (神戸リハビリテーション衛生専門学校)

カリキュラムコード 74 領域 中枢神経疾患

申込者数 98 名 府士会員数 33 名 (34%) 履修登録者数 70 名 (71%)

・第 23 回研修会

開催日 2024 年 9 月 5 日

テーマ 橈骨遠位端骨折に対する理学療法～組織の修復過程を考慮した関節可動域改善の実際～

講師 服部 隼人 先生 (森ノ宮医療大学附属大阪ベイクリニック)

カリキュラムコード 58 領域 機能障害

申込者数 118 名 府士会員数 18 名 (15%) 履修登録者数 83 名 (70%)

・第 24 回研修会

開催日 2024 年 9 月 10 日

テーマ 基礎から学ぶ解剖学～腰痛の原因は何か？整理しておくべき腰部その他の解剖学的特徴～

講師 荒川 高光 先生 (神戸大学大学院)

カリキュラムコード 49 領域 理学療法の基礎領域

申込者数 306 名 府士会員数 75 名 (25%) 履修登録者数 216 名 (71%)

・第 25 回研修会

開催日 2024 年 9 月 19 日

テーマ 脳卒中患者に対する促通反復療法 (川平法) の実際

講師 和田 善行 先生 (平成記念病院)

カリキュラムコード 62 領域 運動麻痺

申込者数 112 名 府士会員数 20 名 (18%) 履修登録者数 75 名 (67%)

・第 26 回研修会

開催日 2024 年 9 月 25 日

テーマ がんのリハビリテーションⅡ エビデンスをもとに組み立てる運動療法プログラム

講師 森下 慎一郎 先生 (福島県立医科大学)

カリキュラムコード 44 領域 治療プログラム立案

申込者数 155 名 府士会員数 24 名 (15%) 履修登録者数 93 名 (60%)

・第 27 回研修会

開催日 2024 年 9 月 30 日

テーマ ACL 損傷再建術後理学療法の最前線～アスリートの競技復帰までの道のり～

講 師 大路 駿介 先生（東京医科歯科大学）

カリキュラムコード 90 領域 スポーツ分野における理学療法

申込者数 203 名 府士会員数 37 名（18%）履修登録者数 140 名（69%）

・第 28 回研修会

開催日 2024 年 10 月 11 日

テーマ 基礎から学ぶ循環～心電図の基礎とリスク管理～

講 師 堀 竜次 先生（森ノ宮医療大学）

カリキュラムコード 40 領域 生理機能検査と解釈

申込者数 121 名 府士会員数 35 名（29%）履修登録者数 80 名（66%）

・第 29 回研修会

開催日 2024 年 10 月 18 日

テーマ 運動の不器用さのある子どもたちー発達性協調運動症の理解とリハビリテーション

講 師 信迫 悟志 先生（畿央大学大学院健康科学研究科）

カリキュラムコード 122 領域 小児・発達障害の理学療法

申込者数 170 名 府士会員数 31 名（18%）履修登録者数 119 名（70%）

・第 30 回研修会

開催日 2024 年 10 月 24 日

テーマ 間質性肺疾患に対する呼吸理学療法～COPD とどう違う？～

講 師 稲垣 武 先生（千葉県立保健医療大学健康科学部）

カリキュラムコード 100 領域 呼吸理学療法

申込者数 98 名 府士会員数 20 名（20%）履修登録者数 66 名（67%）

・第 31 回研修会

開催日 2024 年 10 月 30 日

テーマ 関節可動域制限に対する治療展開

講 師 池澤 秀起 先生（訪問リハビリテーション relife）

カリキュラムコード 93 領域 疼痛 慢性痛

申込者数 76 名 府士会員数 21 名（28%）履修登録者数 66 名（87%）

・第 32 回研修会

開催日 2024 年 11 月 7 日

テーマ 基礎から学ぶ画像評価～脳画像から考える片麻痺患者の特性～

講 師 松田 淳子 先生（大阪行岡医療大学）

カリキュラムコード 45 領域 エビデンス（根拠）に基づく理学療法

申込者数 98 名 府士会員数 27 名（28%）履修登録者数 69 名（70%）

・第 33 回研修会

開催日 2024 年 11 月 13 日

テーマ 身体機能改善で予後はよくなる！？～心不全患者の包括的アプローチの重要性～

講 師 森沢 知之 先生（順天堂大学）

カリキュラムコード 101 領域 循環障害

申込者数 81 名 府士会員数 30 名（37%）履修登録者数 60 名（74%）

・第 34 回研修会

開催日 2024 年 11 月 18 日

テーマ 肩甲骨のバイオメカニクスから紐解く肩関節の治療戦略

講 師 内田 智也 先生（トヨタ記念病院）

カリキュラムコード 51 領域 活動体としての人間理解 関節運動

申込者数 130 名 府士会員数 36 名（28%）履修登録者数 92 名（71%）

・第 35 回研修会

開催日 2024 年 11 月 21 日

テーマ 切断リハの先入観を解く～その義足で歩けますか？～

講 師 梅澤 慎吾 先生（義肢・装具サポートセンター）

カリキュラムコード 148 領域 装具

申込者数 42 名 府士会員数 11 名（26%）履修登録者数 29 名（69%）

・第 36 回研修会

開催日 2024 年 11 月 26 日

テーマ 感覚領域の脳梗塞にて生じる感覚異常と運動獲得のための理学療法

講 師 山本 吉則 先生（三重大学医学部附属病院）

カリキュラムコード 71 領域 感覚障害

申込者数 125 名 府士会員数 27 名（22%）履修登録者数 85 名（68%）

・第 37 回研修会

開催日 2024 年 12 月 2 日

テーマ サルコペニア・フレイルを伴う呼吸器疾患患者にどう対処するか～現状と実践
～

講 師 川越 厚良 先生（市立秋田総合病院）

カリキュラムコード 127 領域 フレイル

申込者数 80 名 府士会員数 15 名（19%）履修登録者数 56 名（70%）

・第 38 回研修会

開催日 2024 年 12 月 6 日

テーマ 基礎から学ぶ統計～臨床データを蓄積するためのデータベース作成のポイント～

講 師 日高 正巳 先生（兵庫医科大学）

カリキュラムコード 48 領域 研究法

申込者数 88 名 府士会員数 18 名（20%）履修登録者数 59 名（67%）

・第 39 回研修会

開催日 2024 年 12 月 13 日

テーマ 神経生理学視点から紐解く上肢の連合反応～歩行中での肘を伸ばすには～

講 師 森高 良樹 先生（おくだ神経外科クリニック）

カリキュラムコード 63 領域 筋緊張異常

申込者数 100 名 府士会員数 33 名（33%）履修登録者数 70 名（70%）

・第 40 回研修会

開催日 2024 年 12 月 18 日

テーマ 人工股関節全置換術後の健康寿命延伸に向けた理学療法戦略～術後長期経過
のデータから考える介入のあり方～

講 師 二宮 一成 先生（苑田会人工関節センター病院）

カリキュラムコード 46 領域 予後予測

申込者数 75 名 府士会員数 16 名（21%）履修登録者数 51 名（68%）

・第 41 回研修会

開催日 2025 年 1 月 9 日

テーマ 変形性膝関節症の保存療法～痛みの要因とマネジメント～

講 師 田中 創 先生（福岡整形外科病院）

カリキュラムコード 41 領域 問題点抽出と目標設定

申込者数 116 名 府士会員数 26 名（22%）履修登録者数 81 名（70%）

・第 42 回研修会

開催日 2025 年 1 月 15 日

テーマ がんのリハビリテーション ～緩和ケア主体の時期に理学療法士ができるこ
と～

講 師 奥平 由香 先生（松下記念病院）

カリキュラムコード 167 領域 終末期の理学療法

申込者数 130 名 府士会員数 17 名（13%）履修登録者数 91 名（70%）

・第 43 回研修会

開催日 2025 年 1 月 21 日

テーマ 最先端テクノロジー～脳卒中後の半側空間無視に対する Virtual Reality の
活用～

講 師 沼尾 拓 先生（専門学校社会医学技術学院）

カリキュラムコード 78 領域 高次脳機能障害の理学療法

申込者数 26 名 府士会員数 6 名（23%）履修登録者数 18 名（69%）

・第 44 回研修会

開催日 2025 年 1 月 29 日

テーマ 基礎から学ぶ筋力・筋持久力トレーニング～最適な運動強度と運動時間を設定
するためのポイント～

講 師 宮本 俊朗 先生（関西医科大学）

カリキュラムコード 50 領域 基本的な理学療法治療技術

申込者数 292 名 府士会員数 55 名（19%）履修登録者数 187 名（64%）

・第45回研修会

開催日 2025年2月4日

テーマ 慢性足関節不安定症に対する理学療法～どうやって関節を安定させる？～

講師 小林 匠 先生（群馬大学大学院保健学研究科）

カリキュラムコード 64 領域 歩行・歩行障害

申込者数 104名 府士会員数 19名（18%）履修登録者数 74名（71%）

・第46回研修会

開催日 2025年2月10日

テーマ 集中治療患者に対するリハビリテーション～ICUで求められる理学療法士の役割～

講師 花田 匡利 先生（長崎大学病院）

カリキュラムコード 161 領域 急性期の理学療法

申込者数 97名 府士会員数 20名（21%）履修登録者数 59名（61%）

・第47回研修会

開催日 2025年2月13日

テーマ 基礎から学ぶ疼痛～治療に活かす痛みの概念と病態の理解～

講師 坂本 淳哉 先生（長崎大学生命医科学域）

カリキュラムコード 96 領域 疼痛に対する理学療法

申込者数 144名 府士会員数 22名（15%）履修登録者数 97名（67%）

・第48回研修会

開催日 2025年2月19日

テーマ エビデンスと個別性を考慮した脳卒中急性期理学療法

講師 野添 匡史 先生（関西医科大学）

カリキュラムコード 77 領域 中枢神経疾患の理学療法

申込者数 90名 府士会員数 21名（23%）履修登録者数 53名（59%）

・第49回研修会

開催日 2025年2月27日

テーマ 肩関節唇損傷の病態理解と運動療法～上腕骨頭の不安定性に着目して～

講師 石川 博明 先生（東北大学）

カリキュラムコード 84 領域 骨関節障害

申込者数 165名 府士会員数 24名（15%）履修登録者数 110名（67%）

・第50回研修会

開催日 2025年3月5日

テーマ 理学療法士による褥瘡ケア～予防から治療まで～

講師 本田 寛人 先生（四條畷学園大学）

カリキュラムコード 56 領域 褥瘡・創傷ケア

申込者数 267名 府士会員数 33名（12%）履修登録者数 202名（76%）

・第51回研修会

開催日 2025年3月11日

テーマ 外来心臓リハビリテーションの理論と実際～身体活動や運動の管理の秘訣～

講師 内藤 紘一 先生（名古屋女子大学）

カリキュラムコード 106 領域 心臓リハビリテーション

申込者数 98名 府士会員数 16名（16%）履修登録者数 65名（66%）

・第52回研修会

開催日 2025年3月19日

テーマ 疼痛患者に対する Pain Management の実際

講師 今井 亮太 先生（大阪河崎リハビリテーション大学）

カリキュラムコード 97 領域 疼痛管理

申込者数 220名 府士会員数 42名（19%）履修登録者数 148名（67%）

イ 市区町村理学療法士会「主催」研修会

各市区町村士会から1023件の「主催」研修会の申請があり、開催された。

開催士会および件数は以下の通りである。

開催後は必要に応じ履修登録者数の手続きを実施した。

【北支部】

吹田市理学療法士会	6件
高槻市理学療法士会	2件
茨木市理学療法士会	2件
池田市・豊能・能勢町理学療法士会	1件

【中支部】

福島区理学療法士会	16件
住吉区理学療法士会	1件
北区理学療法士会	2件
住之江区理学療法士会	9件
淀川区理学療法士会	1件
西区理学療法士会	2件
城東区理学療法士会	4件
阿倍野区理学療法士会	1件
東住吉区理学療法士会	1件

【東支部】

枚方市理学療法士会	34件
八尾市・柏原市理学療法士会	3件
羽曳野市理学療法士会	2件
東大阪市理学療法士会	4件
門真市理学療法士会	1件
富田林市・太子町・河南町・千早赤阪村理学療法士会	1件

【南支部】

熊取町理学療法士会	5 件
泉南市理学療法士会	4 件
岸和田市理学療法士会	1 件
阪南市・岬町理学療法士会	1 件
堺市理学療法士会	2 件
泉佐野市・田尻理学療法士会	2 件

ウ センター「承認」研修会

会員所属施設から各市区町村理学療法士会に 17 件の「承認」研修会の申請があり開催された。

担当士会・件数は以下の通りである。

島本町理学療法士会	1 件
北区理学療法士会	3 件
藤井寺市理学療法士会	2 件
枚方市理学療法士会	2 件
東大阪市理学療法士会	2 件
八尾市・柏原市理学療法士会	1 件
松原市理学療法士会	1 件
守口市理学療法士会	1 件
泉南市理学療法士会	1 件
堺市理学療法士会	2 件
岸和田市理学療法士会	1 件

(4) 新生涯学習制度における前期・後期研修に関する事業

【事業番号 303 研修理学療法教育部】

新人症例発表会の運営に関する事業

ア 前期研修（新人ガイダンス）

日 時 令和 6 年 5 月 26 日（日）午後 0 時 15 分から午後 1 時 45 分まで

場 所 大阪国際交流センター

テーマ 「A－2 協会組織」

参加者 338 名

講 師 熊崎 大輔 先生（大阪府理学療法士会 会長）

日 時 令和 6 年 5 月 26 日（日）午後 2 時から午後 3 時 30 分まで

場 所 大阪国際交流センター

テーマ 「A－6 生涯学習について」

参加者 299 名

講 師 都留 貴志 先生（市立吹田市民病院）

日 時 令和6年5月26日（日）午後3時45分から午後5時15分まで
場 所 大阪国際交流センター
テーマ 「A－1 職業人と倫理」
参加者 272名
講 師 元石 光裕 先生（大阪府立大阪南視覚支援学校）

イ 前期研修（センター主催）

日 時 令和6年6月19日（水）午後7時から午後8時30分まで
令和6年7月24日（水）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「A－3 人間関係および接遇」
参加者 173名
講 師 松野 正幹 先生（照葉の里箕面病院）

日 時 令和6年6月20日（木）午後7時から午後8時30分まで
令和6年7月23日（火）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「A－4 理学療法における関連法規」
参加者 175名
講 師 前川 明久 先生（整形外科もりたクリニック）

日 時 令和6年6月21日（金）午後7時から午後8時30分まで
令和6年7月22日（月）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「A－5 理学療法における情報管理」
参加者 178名
講 師 中川 泰慈 先生（市立吹田市民病院）

ウ 後期研修（領域別研修における士会オリジナル研修）

日 時 令和6年10月10日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「C－1 神経系理学療法 パーキンソン病患者の評価と治療～運動学習理論に基づく考え方～」

参加者 14名
講 師 福本 悠樹 先生（関西医療大学）

日 時 令和6年10月17日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「C－2 運動器系理学療法 足部・足関節の理学療法」
参加者 12名
講 師 宮川 基 先生（小西病院）

日 時 令和6年10月24日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「C－3 内部障害系理学療法 心不全患者の病態理解と理学療法」
参加者 13名
講 師 森脇 嵩之 先生（大阪府済生会吹田病院）

日 時 令和6年10月31日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「C－4 病期別理学療法 パーキンソン病に対するリハビリテーション～
外来・通所リハビリの立場から～」
参加者 19名
講 師 加藤 慶紀 先生（川口脳神経外科リハビリクリニック）

日 時 令和6年11月7日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「C－1 神経系理学療法 脊髄損傷の評価と理学療法～回復期を中心に～」
参加者 7名
講 師 高尾 茉侑 先生（星ヶ丘医療センター）

日 時 令和6年11月14日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「C－2 運動器系理学療法 運動器疾患の疼痛に対する解釈と理学療法－
膝関節を中心に－」
参加者 19名
講 師 森垣 裕太 先生

日 時 令和6年11月21日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「C－3 内部障害系理学療法 呼吸器疾患の理学療法評価と介入－必要
とされる評価を中心に－」
参加者 19名
講 師 大庭 潤平 先生（大阪複十字病院）

日 時 令和6年12月5日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「C－4 病期別理学療法 生活期における脳卒中片麻痺の理学療法」
参加者 9名
講 師 森田 隆剛 先生（城山病院）

日 時 令和6年12月13日（金）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「C－1 神経系理学療法 脳血管障害・神経筋疾患に対する物理療法の実際」
参加者 5名
講 師 岡 大史 先生（ベルピアノ病院）

日 時 令和6年12月19日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「C－2 運動器系理学療法 膝関節スポーツ障害の理学療法」
参加者 16名
講 師 宮川 基 先生（小西病院）

日 時 令和7年1月10日（金）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「C－3 内部障害系理学療法 心不全患者の評価と理学療法」
参加者 21名
講 師 堀 雄介 先生（大阪府済生会富田林病院）

日 時 令和7年1月16日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「C－2 運動器系理学療法 大腿骨近位部骨折の予後予測と理学療法～90分
で予後予測の苦手意識が変わる5つのポイント～」
参加者 18名
講 師 丸山 隆則 先生（社会医療法人 生長会 府中病院）

日 時 令和7年1月23日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「C－3 内部障害系理学療法 慢性腎臓病患者の理学療法評価と介入」
参加者 10名
講 師 島谷 俊亮 先生（市立吹田市民病院）

日 時 令和7年2月27日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ 「C－4 病期別理学療法 緩和ケア病棟の理学療法 ～傾聴を中心とした
評価・介入の実際～」
参加者 12名
講 師 吉留 秀郎 先生（東大阪病院）

エ 領域別研修（事例）士会『承認』症例検討会

令和6年4月 27回（演題）開催

令和6年5月 49回（演題）開催

令和6年6月 36回(演題)開催
令和6年7月 40回(演題)開催
令和6年8月 53回(演題)開催
令和6年9月 63回(演題)開催
令和6年10月 58回(演題)開催
令和6年11月 59回(演題)開催
令和6年12月 51回(演題)開催
令和7年1月 61回(演題)開催
令和7年2月 59回(演題)開催
令和7年3月 52回(演題)開催
合計 608回

オ 領域別研修(事例)士会『主催』症例検討会

日時 令和6年8月1日(木) 午後7時から午後7時30分まで
場所 オンライン開催(LIVE)
テーマ 「E-2 運動器理学療法症例検討会」 1題
参加者 139名

日時 令和6年9月26日(木) 午後7時から午後7時30分まで
場所 オンライン開催(LIVE)
テーマ 「E-2 運動器理学療法症例検討会」 1題
参加者 72名

日時 令和6年11月28日(木) 午後7時から午後8時10分まで
場所 オンライン開催(LIVE)
テーマ 「E-1 神経系理学療法症例検討会」 1題
「E-3 内部障害理学療法症例検討会」 1題
参加者 150名(2題延べ数)

日時 令和7年2月6日(木) 午後7時から午後8時10分まで
場所 オンライン開催(LIVE)
テーマ 「E-1 神経系理学療法症例検討会」 1題
「E-3 内部障害理学療法症例検討会」 1題
参加者 218名(2題延べ数)

カ 「主催」「承認」症例検討会説明会

日時 令和6年7月11日(木) 午後7時から午後7時40分まで
令和6年8月7日(火) 午後7時から午後7時40分まで
場所 オンライン開催(LIVE)
参加者 72名(延べ数)

キ 第5回新人症例発表会

中支部新人症例発表会

日 時 令和7年1月26日（日）午前9時30分から午後1時40分まで

場 所 オンライン（LIVE開催）

主幹士会 阿倍野区理学療法士会（会長 山上 拓 先生）

実行委員長 山崎 道晴 先生（帝塚山リハビリテーション病院）

発表演題数 52 演題

参加者 192 名

北支部新人症例発表会

日 時 令和7年2月9日（日）午前9時から午後0時30分まで

場 所 大阪人間科学大学（対面開催）

主幹士会 箕面市理学療法士会（会長 岡本 浩明 先生）

総責任者 岡本 浩明 先生（相原病院）

準備委員長 近田 昌史 先生（彩都リハビリテーション病院）

発表演題数 63 演題

参加者 201 名

南支部新人症例発表会

日 時 令和7年2月9日（日）午前9時から午後1時まで

場 所 関西医療大学・オンラインL I V E（ハイブリッド開催）

主幹士会 熊取町理学療法士会（会長 山崎 航 先生）

準備委員長 山崎 航 先生（関西医療大学）

発表演題数 29 演題

参加者 102 名

東支部新人症例発表会

日 時 令和7年2月11日（火・祝）午前10時から午後2時30分まで

場 所 関西福祉科学大学（対面開催）

主幹士会 羽曳野市理学療法士会（会長 高見 武志 先生）

総責任者 高見 武志 先生（城山病院）

実行委員長 伊藤 勇輝 先生（城山病院）

発表演題数 54 演題

参加者 154 名

ク 前期・後期研修履修状況（2025 年 3 月 5 日）

会員数 8,325 名
登録理学療法士取得者 3,528 名（約 42.4%）
未修了者数 4,797 名（約 57.6%）
前期研修 座学未修了 項目により 885 名～2137 名
実地研修未修了 3,184 名
後期研修 座学未修了 項目により 2,748 名～4436 名
症例検討未修了 項目により 4,315 名～4370 名

（５）指導者の育成に関する事業 【事業番号 304 臨床実習教育部】

ア 大阪府士会員数に向けて臨床実習指導者講習会を開催した。

期 間 令和 7 年 1 月 25 日（土）から令和 1 月 26 日（日）まで

受講者 45 名（修了者 45 名）

場 所 オンライン開催

（６）臨床実習教育基準に関する事業 【事業番号 305 臨床実習教育部】

ア 臨床実習前評価の統一化に関するワーキンググループにて検討を重ね、令和 7 年度より実習前評価結果を臨床実習に活用するための取り組みを行うこととなった。

イ 本事業による検討の進捗を会員に向けて適宜発信した。

（７）指導者の質の向上に関する事業 【事業番号 306 臨床実習教育部】

ア 認定臨床教育者制度に基づき、講習会を計 4 回実施した。

（ア）認定臨床教育者講習会 Basic コース

日 時 第 1 回 令和 6 年 6 月 23 日（日）午前 9 時から午後 5 時 30 分

第 2 回 令和 6 年 7 月 20 日（土）午前 9 時から午後 5 時 30 分

場 所 オンライン開催

内 容 講義 1 「クリニカル・クラークシップによる臨床実習の考え方」

講 師 中川 法一 先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会 会長）

講義 2 「クリニカル・クラークシップにおける教育学習理論」

講 師 酒井 吉仁 先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会 理事）

講義 3 「クリニカル・クラークシップにおける指導実践」

講 師 辻岡 大輔 先生（臨床実習教育部）

演習 1 「正統的周辺参加」

演習 2 「運動スキルの指導」

演習 3 「認知スキルの指導」

参加者 第 1 回 37 名（修了者 37 名）

第 2 回 30 名（修了者 30 名）

(イ) 認定臨床教育者講習会 Advance コース

日 時 令和6年9月21日(土) 午前9時から午後6時30分

場 所 オンライン開催

内 容 講義1「クリニカル・クラークシップにおける教育効果と学生評価」

講 師 日高 正巳 先生(日本リハビリテーション臨床教育研究会 副会長)

講義2「クリニカル・クラークシップにおける形成的評価と指導計画 総論」

講 師 日高 正巳 先生(日本リハビリテーション臨床教育研究会 副会長)

講義3「クリニカル・クラークシップにおける形成的評価と指導計画 各論」

講 師 山下 昌彦 先生(日本リハビリテーション臨床教育研究会 理事)

演習1「運動スキル指導場面における形成的評価」

演習2「認知スキル指導場面における形成的評価」

<演習ファシリテーター>

山下 昌彦 先生(日本リハビリテーション臨床教育研究会 理事)

都留 貴志 先生(日本リハビリテーション臨床教育研究会 理事)

貞末 仁美 先生(臨床実習教育部)

亀甲 健太朗 先生(臨床実習教育部)

上村 亮介 先生(臨床実習教育部)

森下 宗之 先生(臨床実習教育部)

参加者 42名(修了者 41名)

(ウ) 認定臨床教育者講習会 Master コース

日 時 令和7年2月15日(土) 午前9時から午後3時30分

場 所 森ノ宮医療大学

内 容 講義1「認定臨床教育者に求められること」

講 師 中川 法一 先生(日本リハビリテーション臨床教育研究会 会長)

講義2「臨床教育者の育成」

講 師 日高 正巳 先生(日本リハビリテーション臨床教育研究会 副会長)

演習1「臨床教育者の支援」

<演習ファシリテーター>

都留 貴志 先生(日本リハビリテーション臨床教育研究会 理事)

貞末 仁美 先生(臨床実習教育部)

亀甲 健太朗 先生(臨床実習教育部)

上村 亮介 先生(臨床実習教育部)

森下 宗之 先生(臨床実習教育部)

白川 雅仁 先生(臨床実習教育部)

辻岡 大輔 先生(臨床実習教育部)

参加者 46名(認定者 46名)

イ 診療参加型臨床実習における臨床教育者マニュアル（初版）の案内、ならびにパブリックコメントの募集を行った。

（８）３士会合同研修会事業

【事業番号 307 研修部】

３士会合同研修会

大阪府理学療法士会生涯学習センター・大阪府作業療法士会・大阪府言語聴覚士会の３士会で第１回３士会合同研修会を企画・開催した。令和６年９月１日に開催予定であったが台風接近の影響で開催を見送り、令和７年２月１６日に延期し開催した。

申込者数 191 名（理学療法士 73 名、作業療法士 82 名、言語聴覚士 36 名）、当日参加者数 149 名（理学療法士 46 名、作業療法士 67 名、言語聴覚士 36 名）であった。開催内容を以下に示す。

テーマ 高次脳機能障害と社会参加

会 場 森ノ宮医療大学コスモホール

日 時 令和７年２月１６日 午前９時から午後０時 30 分まで

内 容 第１部

講演会

- ・「高次脳機能障害の病態・評価と理学療法-半側空間無視を中心に-」

講 師 尾崎 新平 先生（関西電力病院リハビリテーション部、理学療法士）

- ・「高次脳機能障害の作業療法と社会参加-家庭での役割の再獲得、就労に向けた作業療法アプローチ-」

講 師 神尾 昭宏 先生（森之宮病院リハビリテーション部、作業療法士）

- ・「高次脳機能障害の言語聴覚療法と社会参加-就労に関わる ST の役割について-生活期から社会復帰の支援-」

講 師 笹川 久美子 先生（篤友会リハビリテーションクリニック、言語聴覚

第２部

シンポジウム「高次脳機能障害と社会参加について考える」

4 目的を同じくする法人等の行う活動に関する助言又は支援

（１）認定理学療法士認定臨床カリキュラム教育機関に関する事業

【事業番号 401 受託研修部】

認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関として、２領域（運動器と循環器）のカリキュラムを開講した。開催形式はオンデマンド形式（必須 15 科目）、Zoom によるオンライン形式（選択 5 科目）で行なった。必須科目のオンデマンド視聴期間は、令和 6 年 10 月 1 日（火）から令和 5 年 12 月 1 日（日）とした。Zoom によるオンライン形式の選択科目は令和 6 年 10 月 27 日（日）に開催した。各領域の受講者数は運動器 16 名、循環器 31 名であった。

(2) 理学療法士講習会（協会助成金事業と府士会事業））事業に関する事業

【事業番号 401 受託研修部】

令和6年度の生涯学習センター主催の理学療法士講習会(以下、センター主催)16件(上半期8件、下半期8件)と協会助成事業の理学療法士講習会(以下、助成事業)1件の管理を行った。
また令和7年度と同講習会の募集を行い、上半期センター主催11件と助成事業1件の応募があり、採択された。

5 法人の目的を達成するために必要な事業

(1) ホームページ及びSNSによる広報に関する事業

【事業番号 501 ソーシャルメディア管理部】

ア 当センターHPの管理運営を行った。

HP「ニュース・お知らせ」掲載数109件、「学会・研修会情報」掲載数175件

イ SNS(Facebook、X(旧Twitter)、Instagram)の管理運営を行った。

ウ 研修会・学会等の学術関連の広報活動を行った。

(2) ニュースの編集及びホームページ掲載に関する事業 【事業番号 502 ニュース編集部】

ア 研修会・講習会・学会等の学術関連の広報活動に関する事を行った。

イ ホームページに活動・学会等に関する掲載を行った。

府士会ニュースへの掲載依頼 6件

おおさかPT学びの道しるべの発行 3件

(3) 役員の行動に伴う業務管理に関する事業

【事業番号 503 総務部】

ア 理事会開催の管理を行った。

第1回4月10日	第2回5月14日	第3回6月12日	第4回7月10日
第5回8月13日	第6回9月11日	第7回10月9日	第8回11月12日
第9回12月11日	第10回1月15日	第11回2月12日	第12回3月12日

イ 総会、学会、部会など出席の管理を行った。

第6回定時総会

期 日 令和6年6月9日(日)

場 所 AP大阪淀屋橋(大阪市中央区北浜3-2-25)

代議員 総代議員数 79名

出席代議員数(委任状出席を含む)79名

欠席者 0名

ウ 他団体との交際の管理を行った。

新年互礼会

期 日 令和7年1月9日(木) 午後7時～午後9時

場 所 ホテルグランヴィア大阪 20階「鳳凰」(大阪市北区梅田3丁目1番1号)

参 加 会員・賛助会員79名、来賓25名 合計104名

(4) 理学療法説明会に関する事業

【事業番号 504 総務部】

新入会員に向けてセンター役員を紹介した。

期 日 2024 年 5 月 26 日(日) 午前 10 時から午後 5 時 15 分まで

場 所 大阪国際交流センター (大阪府大阪市天王寺区上本町 8 丁目 2-6)

出席者 597 名

(5) センター運営の支援に関する事業

【事業番号 505 総務部】

ア 理事会、定時総会、部長会議、その他諸会議の準備と運営を行った。

イ 表彰に関する準備を行った。

表彰 4 件

ウ 議案書、議事録、会議資料の作成と保管を行った。

エ 公文書、申請書、報告書の発行と保管を行った。

公文書 233 件

委嘱状 92 件

オ センター刊行物、各種資料等の保管を行った。

カ 儀礼、慶弔対応を行った。

儀礼、慶弔の件数 ⇒ 48 件 (祝電 45 件、弔電 3 件)

キ 事務所、事務員の管理を行った。

ク 府士会を通じて協会との事務連絡を行った。

(6) 理事長活動に伴う業務管理に関する事業

【事業番号 506 財務部】

他団体との交流などの管理を行った。

(7) 局・部運営に伴う業務の管理に関する事業

【事業番号 507 財務部】

ア 局及び部会議の開催に関する管理を行った。

イ センター以外の諸会議への出席に関する管理を行った。

ウ R 6 年度の下記特別諮問委員会の財務管理を行った。

自立推進委員会

総合理学療法学プレゼンス向上委員会

学会・研修集会あり方検討委員会

役員構成等検討委員会

(8) 財務管理に関する事業

【事業番号 508 財務部】

ア 会計業務委託先と連携を取り財務管理を行った。

イ 年間予算の作成及び各部支出状況の管理を行った。

(ア) 予算・決算に関する事業を行った。

(イ) 事業収入に関する事業を行った。

(ウ) 事業費、管理費の支出などに関する事を行った。

(エ) 流動資産の管理に関する事を行った。

(オ) 支給規則の遵守に関する事を行った。

ウ 事務所移転に伴う財務処理の調整を行った。

(9) 新年互礼会の開催に関する事業

【事業番号 509 総務部】

新年互礼会の開催に関する事業を行った。

期 日 令和7年1月9日(木) 午後7時から午後9時まで

場 所 ホテルグランヴィア大阪 20 階「鳳凰」(大阪市北区梅田3丁目1番1号)

参 加 会員 57 名、賛助会員 7 名、来賓 25 名、合計 89 名

(10) 役員選挙に関する事業

【事業番号 510 選挙管理委員会】

理事の1名が任期期間中に理由ある退任となり補欠選挙を行い立候補者1名により無投票当選となった。R7年度・R8年度に向けて定款に基づき役員改選の準備を行った。

(11) 情報技術の活用・支援に関する事業

【事業番号 511 システムエンジニアリング部】

ア ITソリューションサービスの提案を行なった。

(ア) 賛助会員マッチングサイトの構築に関して

イ センター主催イベント(学術大会・研修集会等)の配信サポートを行なった。

(ア) 第6回生涯学習研修集会の情報技術に関する支援を行なった。

(イ) 第36回大阪府理学療法学術大会の情報技術に関する支援を行なった。

(ウ) 2024年度臨床認定カリキュラムの情報技術に関する支援を行なった。

ウ 配信機器の保守・管理を行なった。